

【12月5日（金）】

ようやく、体の状態が現地時間に慣れてきました。現地時間で6時に起床することができました。ホテルではNHKの番組をライブで見られるので、テレビを付けると「マッサン」という番組が放映されていました。普段は会社にいるので連続テレビ小説は何をやっているのか知りませんが、外国の方がヒロインとは驚きでした。

ホテルを9時に出発し、9時45分頃に展示会場に到着。いつもより少し渋滞がありました。本日は金曜日ということもあり、お昼頃にムスリムの男性のみお祈りの時間を普段より長く行うので、午後から展示会場は賑わうかもしれないとのことでした。

C社様はジャカルタの方々が普段買い物をするところを見学したいということで、スーパーマーケットに行くことに。私も同行させていただきました。

11時頃に展示会場を出て、スーパーに向かいましたが、ひどい渋滞にあってしまいました。空いていれば10分程度の道を40分くらいかけて到着しました。食料品はもちろん家電や衣類も揃っているお店でした。家電ではテレビやパソコンについては日本とほぼ同じような価格帯でした。扇風機は「MIYAKO」という、みたことの無いブランド名がついており、日本製か？と疑ってしまいました。同行していただいた通訳の方からは、一般家庭では良く使われているブランドとのことでした。炊飯器は私が小学生の頃（昭和50年代ですが）よく目にした、下半分くらいが花柄のもので、我が家では「ジャー」と呼んでいたものの品揃えが豊富で、思わず「懐かしい」と言ってしまいました。洗濯機においては、2槽式がメインで、全自動タイプやドラム式は見つけられませんでした。

私たちが行ったお店がたまたまそういった品揃えだったのかもしれませんが、昭和の香りがしました。

テレビなんかは4Kとかもしっかり置いてありましたので、品物によつての差があるようでした。日本の感覚で安いとか高いとかを判断してしまいますが、食料品では、日本より高いものもあれば、安いものもありました。品物によりけりです。

りんごも種類によりますが、1個約50円のもあれば、800円のもありました。肉売り場には「NO HALAL」と表記された売場と何も書かれていない売場が分かれていました。インドネシアで売られている食べ物は、基本的にハラールなので、表示を気にして買い物をするのはほとんど無いとのことでした。

お店を後にする時に、エスカレーター付近の露店に「大判焼き」と日本語で書かれた商品が売られていましたが、どう見ても「ドラ焼き」にしか見えませんでした。流石に通訳の方も苦笑いしていました。

同時刻に我々とは別に、C社様が昨日の最終処分場の方からの紹介により、清掃局を訪問されていました。清掃局としてもゴミ問題に頭を悩ませているようでした。市民の方は分別してゴミを捨てていますが、収集車で運ぶ時には分別したものを一緒にしてしまっているので、最終的には分別していないとのことでした。極力リサイクルを行うことで、ゴミを減らす努力はしていますが、効果としてはまだまだのようです。何とかして手を打ちたい

と考えており、海外視察や、海外企業からの提案を受け入れてはいますが、清掃局には機械導入の権限は無く、政府主導になっているとのことでした。

2、3年前にシンガポールとインドの会社が入札により焼却炉を納入することになっていたようですが、未だに実現されていないとのことでした。

15時頃からは大雨が降ってきました。もの凄い勢いで雨が降り始め、展示会場のテントブースはエアコンがストップしてしまいました。テント内は蒸し風呂のような状況になってしまいました。ホールで良かったと再確認できました。



金曜日の夕方の雨は街中の渋滞を更に加速させます。3時半頃に展示会場を出なくては行けない企業様がいらっしゃったので、タクシーで帰ることにしていました。4時過ぎに、その企業様が戻ってこられて事情を伺ったところ、タクシー乗り場にタクシーが全然来ないとのことでした。急遽チャーターしているバスを借りたいとのこと、展示会は6時までなので、それまでにバスが戻って来られれば大丈夫。と、思いましたが、そんな保証はどこにもありません。渋滞の時間は読めない、とりあえず一刻でも早く、ここと出発して頂くことにしてもらいました。

6時ちょっと前にバスが戻ってきたので良かったですが、展示会終了後、出口付近はタクシー待ちの人で賑わっていました。我々は、チャーターしたバスで順調にホテルに帰ることができました。バスのチャーターは大正解でした。